

生衛 やまがた



第215号

編集・発行 公益財団法人 山形県生活衛生営業指導センター

〒990-0033 山形市諏訪町2丁目1番60号

☎(023)623-4323(代) <http://www.seiei.or.jp/yamagata/>



業務連携・協力に関する覚書を締結しました

昨年11月22日、当指導センターは、県内の日本政策金融公庫3支店、4つの信用金庫と業務連携・協力に関する覚書を締結しました。目的は、生活衛生関係事業者の総合的な経営支援等にかかる連携、協力を行い地域経済活性化の促進を図ることです。



新年のご挨拶

公益財団法人山形県生活衛生営業指導センター

理事長 矢萩 長兵衛

令和に入り最初の新年を迎えますこと、お慶び申し上げます。

昭和・平成を過ごし、令和を迎えた今日、顧みるに昭和は戦後復興に向けて先人達は努力の毎日を送られ、その努力が報われ経済が発展しました。

やがてバブル期に入り、バブル崩壊により不況経済へと進み、デフレの長いトンネルに入り、失われた20年と言われるものでした。

平成に入ってもその余波が残り、平成時代は大地震、台風水害という自然災害が多発して大勢の国民が深い悲しみと困難を強いる時代であったように思います。

「復興と経済」それが昭和であり、「自然災害の多発」が平成、このことが私の記憶に残ります。

令和は過去の日本の生き方の経験から学び一人でも多くの人々が笑顔で暮らせる世の中であってほしいものと切に年頭において祈念するものです。

さて、生衛業界を組織する生活衛生同業組合各団体の動向も相応の影響を受けるものと推測しております。

昨年度、指導センターと鶴岡、米沢、新庄、山形の各信用金庫さらに通年生衛会員が日常的に利用させていただいている日本政策金融公庫山形、酒田、米沢支店と三者の業務連携及び協力に関する覚書を締結いたしました。今後この連携がどのような効力を生ずるのか明確ではございませんが、会員の拡大や経営の安全に繋がればと願い、今後の課題と心得るものです。時代は最早インターネットの世となりました。

人と人の対面が激減し、お互いの顔の見えない社会が通常となっております。

時の流れが加速していくものと注視しなければと考えております。

接客業の多い生衛組合においては、人と人との間を大事にして、一期一会の尊さを先行させて頂きたいものです。

全世界的にも個人的にも利己主義という内向きの傾向にあり、自分さえよければのエゴイズムが顕著であるように思います。

前途いたしました。昭和の復興時代は国民が丸となって歩み続けられました。

昨年、ワールドカップラグビーが日本で開催され、日本チームの芯は「ワンチーム」でした。

日本の精神文化に深く残る今は忘れつつある我々の生き方に一喝されたようなありがたいものでした。

生衛業界としても業界各団体とワンチームになって、形は異なりながらも同じ方向と人間第一の基本に回帰し、会員の安心と安全を目標として歩む令和の幕開けとしたいものです。

これまでも皆様方の協力と知恵に助けられながら歩んでまいりましたことに心より深く感謝申し上げます。

本年もまた大いなる各位皆様の御指導をいただき進めてまいりたいと思っております。

最後になりますが、令和2年が皆様にとって良き年であると同時に、お健やかに過ごせますことを御祈念申し上げます。挨拶といたします。



山形県防災くらし安心部
食品安全衛生課長

須藤 正 英

新年明けましておめでとうございます。

生活衛生関係営業の皆様におかれましては、希望に満ちた新年を健やかに迎えのとお喜び申し上げます。皆様には日頃から快適で衛生的な暮らしの実現のために多大な御尽力をいただいておりますことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

昨年は山形県沖地震に加え、過去に例のない大型の台風による甚大な被害が発生し、未だに私たちの生活に深い傷跡を残しております。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

生活衛生営業は、私たちの生活に欠かすことのできないものであり、その発展は、豊かな県民生活につながっております。令和2年は、5月に東北絆まつりが山形市を会場に開催されます。さらに夏には東京オリンピック・パラリンピックがよいよ開催されます。県内でも多くの市町がホストタウン登録をする等、山形の魅力を世界へ発信する絶好の機会と考えております。皆様におかれましてはこれまでと同様に、本県の誇るおもてなしの心と質の高いサービスにより、生活衛生営業の推進に御尽力いただきますようお願い申し上げます。

公益財団法人山形県生活衛生営業指導センターにおかれましては、生活衛生関係営業を取り巻く状況を踏まえ、経営向上を支援する個別相談や講習会の充実、後継者育成事業など生活衛生関係営業者に対する支援機能の強化に努められているところです。今後は、これまで以上に関係業界、消費者のニーズに対応した事業をより効果的に推進されるとともに、生活衛生関係営業の発展と消費者の利益擁護・安全確保のため、その役割を十分に果たされるよう期待申し上げます。

県といたしましても、公益財団法人山形県生活衛生営業指導センターが行う事業の充実などにより、各生活衛生同業組合の振興事業を支援してまいりますとともに、皆様と連携を密にしながら、消費者サービスの向上と業界の活性化を図ってまいりたいと考えておりますので、今後とも御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお祈りいたします。

結びに、新しい年が、生活衛生関係営業の皆様にとって希望に満ちた大きな飛躍の年となることを心から祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



日本政策金融公庫 山形支店
国民生活事業統轄

早川 博 泰

令和2年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を顧みますと、6月の山形県沖を震源とする地震や台風第15号、そして台風第19号などの自然災害が続く1年となりました。また、10月の消費税率引き上げに伴うキャッシュレス対応、ポイント還元制度など、生活衛生関係営業の皆様におかれましては、様々な対応を求められる1年でもありました。新たな年は、東京2020オリンピック・パラリンピックがよいよ開幕し、訪日外国人旅行者の更なる増加が見込まれます。これが新たなビジネスチャンスにつながり、皆様にとって飛躍の年となることを願うものであります。

これまで日本政策金融公庫におきましては、生活衛生関係営業の皆様を支援すべく、金融面での支援のほか、生活衛生営業指導センターや生活衛生同業組合と連携した「経営課題解決セミナー」の全国各地での開催や、経営課題解決に向けた情報発信の充実にも取り組んでまいりました。

昨年11月には、生活衛生営業指導センター、山形県内4信用金庫と日本政策金融公庫山形県内3支店による業務連携・協力の覚書を締結いたしました。こうしたネットワークを活用し、今後もより多くの皆様のお役に立てるよう、金融面での支援はもとより、融資をきっかけとした生活衛生同業組合への加入の働きかけや経営課題解決に向けた情報発信を行い、業界全体の活性化に向けて取り組んでまいります。

また、地域に根付き、愛されてきたお店の継承が円滑になされ、未長く繁栄されますよう、後継者問題の取組みへの支援にも力を入れてまいります。

新しい年が皆様方にとりまして、素晴らしい年になるよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





山形県理容生活衛生同業組合
理事長 富 樫 憲 雄



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、新しい天皇が即位され、令和の時代がスタートいたしました。

我々生衛業を営むものといたしましても、どのような未来が到来するか期待するところであります。

そのような中、日本各地では大規模災害が多発し、今までの常識では考えられない状況が続いております。

東北でも福島県、宮城県と甚大な被害を受け、生命・財産・家族の和やかな営みや地域コミュニティをも失い、大きな打撃を受けました。

この度の災害で犠牲となった方々へ心よりご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された多くの方々へお見舞い申し上げます。

また、世界を見渡せば、各国の経済も思うような状況とはいえ、国家間に大きな歪みが生じ、緊張が増している状況です。日本経済も世界からの波を受け、様々な分野に影響が生じております。

そうした不安な状況下ではありますが、このような時代だからこそ、本業の役割と使命をしっかり抱き、時代の要請に応えていかねばと思っております。

今、政界を含め様々な業界や職業の真価が問われている時であります。

本業の価値を高め、地域社会の人たちのひと時の幸せを提供するために「技術とおもてなし」の品質向上にこだわり続けることが私たちの原点だと思っております。

今後は国の働き方改革により、我々生衛業も大きく変化してゆくことと思っております。

まずは、取り組むべき課題に、皆さんと心をつなげて、今年も気を緩めることなく、常に攻守の姿勢を忘れずに積極的に取り組んで参りたいと思っております。

最後に、皆様にとって新しい年が更に良い年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



山形県美容業生活衛生同業組合
理事長 小 山 幸 子



あけましておめでとうございます。生活衛生同業組合員の皆様、令和2年を清々しい気持ちでお迎える事とお喜び申し上げます。

新しい天皇皇后両陛下の誕生により、令和元年を迎え、新しい年に期待をしているところであります。

昨年は消費税の引き上げがあり、また美容師不足も発生し、平成の時代では考えられない時となりました。特に美容師不足はどうにもならない問題であります。やはり美容業界においても自動化できることを自動化し、業界の改善できるところは改善しながら進まなければと考えます。

働き方改革の方針が打ち出され、また、最低賃金の大幅な引き上げ、労働時間の短縮、有給休暇の5日間の取得義務化等、美容業としては厳しい状況となる事と思っております。新年早々暗い事ばかりですが、私達の美容室でも出来る身近な所から一つずつ改善・実行して参りたいと存じます。

令和2年7月に日本においてオリンピックの開催、8月にはパラリンピックが開催がなされ、世界中より多くの外国人が来られます。これを機に日本の様々な所に外国人の目がふれ、翌年からは、外国人の観光客が多くなることが予想されており、これに対応するための準備が急務と考えております。観光、食事に加えて美容も遅れないように地方の美容室も頑張りたいと思っております。皆様におかれましても良い年でありますようにお祈りいたします。



山形県クリーニング業生活衛生同業組合
理事長 鈴 木 由 光



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より、格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年5月1日より第126代天皇陛下のご即位に伴い、平成から令和に新元号が改元されました。

晴れやかな令和の幕開けとなりましたが、6月18日(火)22時22分山形県沖でマグニチュード6.7の地震が発生し、山形県、新潟県、秋田県でも大きな揺れを観測しました。

鶴岡市では震度6弱で1組合員の店舗など被災いたしました。営業を停止していた期間は鶴岡支部の組合員の協力を得てお品物のクリーニングを行ったと聞いております。内陸でも大きな揺れを感じ、東日本大震災を思い起こす出来事でした。また、台風の到来が多く、第15号、第19号は長野県、千葉県を中心に甚大な被害をもたらしました。今後も台風の被害は多く発生すると予想されています。

自然界の異変は地球温暖化によるものと言われ、全世界でも様々な取り組みが加速されています。

少しでも考慮する必要があると感じております。

令和元年度生活衛生営業活性化助成費の事業で

は、消費者利益擁護のため昨年度に引き続き「シームレスダウン」についての注意喚起をいたしました。

「人々が美しく心寄せ合う中で、文化は花開く」の令和の意味に込められた年であることを願いつつ、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



初春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

昨年の国内興行界は、興行収入2550億円前後、入場者数1億9千万人前後で過去最高の予定です。要因として『天気の子』『アラジン』『トイ・ストーリー4』の3作品が興行収入100億円を超え、『名探偵コナン 紺青の拳』他11作品が興行収入50億円を超えました。100億円超えについては、2004年「ラストサムライ」の年の4作品には敵いませんが、2010年「アバター」の年と同じ数で歴代2位です。また、50億円超えは、2006年「ゲド戦記」の年以来2度目です。この結果は、ひとえに皆様が劇場に足を運んでいただいたお蔭と改めて深く感謝申し上げます。

今年は実写作品として、現在上映中でシリーズ最後となる『スター・ウォーズ スカイウォーカーの夜明け』、1月24日からはミュージカルの金字塔の映画化『キャッツ』。春以降公開予定の『ミニオンズ』『ろうろうに剣心』『トップガン』。シリーズアニメ作品として『ドラえもん』『名探偵コナン』など皆様お馴染みの大作・期待作が控えております。これらの作品に加え、皆様に喜んで頂ける作品を数多くお届け出来る様、組会員一同頑張っていく所存ですので、何卒ご支援下さいませようお願い申し上げます。結びに、生活衛生同業組合の皆様のご多幸とご繁栄をご祈念申し上げます。



2020年の新春を、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、ゴールデンウィークが史上初10連休となり観光面で大変な好材料になりました。

しかし、さくらんぼシーズンの山形県沖地震や秋の行楽シーズンの台風など、大きな災害も多く、観光の面でも厳しい年になりました。

今年は7月から最大のイベント「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。これまでで

上に、海外との交流が深まるものと思います。

県内の旅館・ホテルでは外国人の旅行者が増えていますし、中心街や観光地だけでなく外国人の旅行者が歩いている姿をあちらこちら見かけるようになりました。我々、旅館・ホテル組合では、外国人の旅行者を増やすとともに、外国人の労働者にも力を入れています。昨年、6月には、ベトナムのハノイ大学の学長を招聘し、日本の旅館を見学してもらいました。そして、県知事や山形大学の学長へも表敬訪問しました。

山形で優秀な外国人を採用するには、最初に学生のインターンシップからスタートだと思い、ベトナムの大学に働きかけています。

時間は掛かると思いますが、外国人の若い力や能力を借りて山形県の観光を活性化していきたいと思っています。



平成の世から令和の御世に入り、最初の新春を迎えられましたこと、組会員皆様と共に御慶び申し上げます。

平成時代は、自然災害が多発し令和もまた大きな風水害に襲われ、不運にして災害にあわれ、被災されました大勢の方々に衷心より御見舞い申し上げ、一日も早い復興を祈念するものです。

長いこと、私達をとり巻く環境は厳しく、年を重ねるごとに身に染み入る思いがあります。地域に残る若者が少なく、未来を担う子供の数が年々減少し、反比例するかのように高齢化の増加の道が進んでおります。こうした要因は、それぞれのお店の経営にその影を落とし、先行不透明感を与えております。特に人手不足や後継者不足などは、近未来的に麺類組合としての組織の弱体化につながる恐れを感じます。こうした思いから、そば・ラーメンの感謝事業などを遂行し組会員のメリットにリンクしてほしいとの願いでもあります。

さて、昨年度施行された消費税増税に伴う軽減税率導入は多くの組会員を困惑させている事だろうと推測いたしております。これまで同様に組合として勉強会等を開催し、組会員の理解を得るべき努力してまいりたいと考えております。

今年は、東京オリンピックが開催されます。

業界においてお客様に対する衛生上の観点からハサップ実施事項が行政指導により来る6月1日より定められました。それと同時に組会員の多くが周知しているとは思いますが、受動喫煙の課題が与え

られました。お客様一人一人の健康上の問題であれば、業界として、より一層の周知徹底を図りたいものと考えます。11月には第85回全国麺類飲食業者北海道大会が札幌にて開催され、インバウンド増加とその対応や日廻りとしての国内的な様々な取り組みが話されました。北海道大会の大会スローガンは「RISE, AGAIN」とうたわれ、様々な分野において原点回帰を求めるものでした。原点とは何なのか答えは分からないかも知れませんが、組合員一人一人が意識して模索し、未来を創造しようとの呼びかけであったように受け止め、共感するものでした。

前途いたしました、軽減税率、ハサップの件、受動喫煙などの多くは、まだ理解されない面が多数あると思います。

これらはすでに施行されているものが一部ありますが、理解を図る努力が求められます。一部法的側面を有するものもあり、こうした諸課題をクリアする上で、勉強会や講習会等も必要になるかと思っており、責任者の役割が不可欠であります。

まだまだ考えなければならない諸問題が山積しておりますが、そうした課題に対応すべく継続してまいりたいものであります。先の見えない現状、多くの組合員の知恵と協力のもと進んでまいりたいと考えます。重ねてご協力をくださいますようお願い申し上げます。

最後に、皆様にとって令和2年がよい年でありませうよう祈念を申し上げ、挨拶といたします。



山形県食肉生活衛生同業組合
理事長 吉田昌弘



新年明けましておめでとうございます。

山形県食肉組合は昨年、60周年の節目として、組合員の皆様の協力を得て、記念誌を発行いたしました。

60年を過ぎ食肉業界を取り巻く環境は大きく変化し、O-157、口蹄疫、BSEの発生等、幾多の諸問題に直面しましたが、その都度困難を乗り越えてまいりました。

これも組合員の一致団結と関係機関・団体の絶大なご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

今後も食肉販売事業者の皆様が自主管理のもと適正な表示を行い、地域に密着した食育・地産地消のサービスの提供、高齢化社会に向けた福祉増進など、生衛法、振興指針に沿った衛生管理の維持・向上を図り、消費者の皆様が安全で安心な食肉を提供することが必要不可欠であります。

今年6月よりHACCP手法の義務化が実施されますので、衛生水準の更なる向上と正しい知識の提供に努める所存です。

生衛業界の皆様のご更なるご繁栄と自然災害などがない、明るい年でありますようお祈り申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



山形県料理飲食業生活衛生同業組合
理事長 新関芳則



令和初の正月、新年あけましておめでとうございます。

組合員はじめ、生活衛生関連の皆さま、新しい年をご健勝にてお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

令和二年というこの年一年が皆様にとって良い年でありますように、心よりご祈念申し上げます。

今年オリンピック年度であり、夏までは全国がオリンピックムード一色かと思われませんが、消費税増税が行われ、景気対策のポイント還元も六月まで、軽減税率の複雑さは事務負担も本格化する時期となります。

働き方改革等、中小零細の組合員店舗としては、大変対応が難しいものがあり、皆様も苦慮されているのではないのでしょうか。

また、人手不足による外国人受け入れ対応は理解しても、実践となると料理飲食の業界としては前途多難であります。

さらに、安心安全面での強化は当然ながら、ハサップ制度や受動喫煙防止対策の四月施行も決定し、一部設備投資も余儀なくされ、今年はこの業界における難題を取り入れなくてはならない重要な時期と考えられます。

特に、人材の確保に伴う問題は業種を問わず、厳しい状況と思われませんが、生活衛生組合関係は日本の文化や伝統を支えてきたものであり、外国人の受け皿だけで解決できるものではありません。

しかし、この時代に於いては、発想の転換を行い、良い意味の技術、精神の伝承と法律上の雇用関係の整合性を持たなくてはならない社会にしっかり対応しなくては、将来はありません。

景気も地方都市にはまだまだの感がございます。

しかし、地域の個性に注目度も高く、多くのお客様にお喜びいただく事が重要ではないのでしょうか。

問題が山積いたしておりますが、今年もより一層、組合員一同、協力体制を整え、情報交換や営業面でのネットワーク強化を行ってまいりましょう。

この新たな年が、ご繁栄の豊かな年になりますことをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



山形県鮎商生活衛生同業組合
理事長 飯 沢 徹

新年あけましておめでとうございます。

平素より格別なるご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年の6月に鈴木前理事長よりご指名にあずかり、理事長という大役を仰せつかりましたが、なにせ急な事でありまして準備もできず組合員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

昨年は山形沖での地震、台風19号と自然災害が多い年でありました。そして未だに厳しい環境での生活を強いられておられる方々には、一日でも早く普段の生活に戻られますよう心からお祈り申し上げます。

さて、元号が令和に変わり、新たな気持ちで原点を振り返り、組合とは何かと改めて考えると、本来の組合のあるべき姿はお互いを助け合う共助の精神で、今まで以上に心一つにすることが大事かと思われます。

組合員に寄り添い、災害時には一刻も早く把握し、ボランティアでできる範囲内で協力し再建にも様々な角度から応援する体制を構築していきたいと考えております。

早々、組合員の方々に対して、三つの柱を提示させていただきました。①将来の年金問題について②異業種との交流活発化③災害に対する危機管理の設置。これらを踏まえ、当組合も消費税増税後の景気後退等で厳しい状況ですが、組合員一丸となり頑張っていきたいと思っております。

本年が皆様にとって希望に満ちた大きな飛躍の年となることを心からご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。



山形県喫茶飲食生活衛生同業組合
理事長 佐 藤 文 昭

皆様方におかれましては穏やかな新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。関係各位には平素よりご理解と、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年5月1日から新元号となり「即位礼正殿の儀」が古式ゆかしく取り行われ、国民の一人として大変うれしく思っており又これを機に景気が上向きになる事を切に願っております。業界を取り巻く環境は消費税の増税や、光熱費の高騰による利益

率の圧迫、人手不足によるサービスの低下など経営が益々厳しくなっています。喫茶飲食業界は本当に多種多様化の道を進んでおります。そして若い経営者も多く生まれており、受動喫煙対策、働き方改革と取り巻く環境も大きく変化していく中で私ども組合としては、強い結束力で、この業界の振興・発展に向け困難の解決に取り組みたいと思っております。子年は新しい運気のサイクルの始まりです。未来への大いなる可能性を感じ期待が膨らみます。

最後に、何卒変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。皆様のご健康と商売繁盛を祈念し、新年の挨拶といたします。



山形県社交飲食業生活衛生同業組合
理事長 丹 野 健 一

新年明けましておめでとうございます。皆様方にはご健勝にて輝かしい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年の組合事業は県産酒の普及事業として上山のウッドファーム、南陽市の新しいワイナリー、グレープリパブリックを視察しました。どちらのワイナリーも若い方が活躍しており、実際に畑を見せて頂きました。ワインの原料となるのは風土を生かして作られたブドウのみ、すべて天然のものにこだわって作られたナチュラルワインです。改めて県産ワインの質の高さを感じました。作り手の熱い思いも伝わり大変勉強になりました。

もう一つの事業は、キャッシュレス消費者還元事業に合わせ、組合店でもコード決済の導入を推進するためセミナーを開催しました。講師よりキャッシュレス決済の必要性やメリット、デメリットをわかりやすく説明してもらいました。セミナー終了後、決済事業者による説明会を同時に開催しました。セミナー後とあって興味をもった方が多く、セミナーだけでは伝わらない実際の操作方法など直接端末を使って体験、相談できたので、興味はあるが難しそうと思っていた方も熱心に聞いていました。今後ますます利用化が進み、インバウンド需要や人手不足対策に繋がればと思います。

また、4月から施行される改正健康増進法についての説明と、今後必要になるハサップの考え方を取り入れた衛生管理についての説明をしてもらいました。どちらも飲食店に関わりがあることなので参加者は皆真剣に聞き入り今回のセミナーは大変有意義なものになりました。

最後に皆様方のさらなるご繁栄を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和元年度 生活衛生功労者の表彰

栄えある受賞おめでとうございます

本年度の生活衛生功労者として、次の方々が栄えある厚生労働大臣表彰及び全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰を受賞されました。

受賞されました皆さま方は、永年にわたり生活衛生同業組合の組織強化と生衛業界発展のために顕著な功績をあげられた方々であり、日頃のご研鑽に敬意を表し、心からお祝いを申し上げるとともに、今後とも益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

厚生労働大臣表彰



美容業生活衛生同業組合
安孫子 孝子氏



食肉生活衛生同業組合
佐藤 充昭氏



理容生活衛生同業組合
白幡 清吉氏

全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰



美容業生活衛生同業組合
原田 由美子氏



旅館ホテル生活衛生同業組合
斉藤 長右衛門氏



麺類飲食生活衛生同業組合
清野 善弘氏

山形県知事表彰



食肉生活衛生同業組合
奥山 義博氏



美容業生活衛生同業組合
東海林 義之氏



理容生活衛生同業組合
後藤 克也氏



旅館ホテル生活衛生同業組合
森谷 智昭氏



麺類飲食生活衛生同業組合
相田 雄二氏

春の叙勲 旭日双光章



旭日双光章を受けて

山形県理容衛生同業組合
元理事長 小関 茂夫

謹んで新年のお喜びを申し上げます。
生活衛生営業関係の皆さまには健やかな新年を迎えられました事とお喜びを申し上げます。私ごとですが、昨年令和元年度春の叙勲に際し旭日双光章の栄を賜りました。一重に皆さまのご温情、御指導の賜物と深く感謝申し上げる次第です。又受賞記念の祝賀会を理容組合富樫理事長始め県理事及び米沢支部役員の方々にて開催して戴き生衛各県理事長様を始め、数多くの方々に御出席を賜りました事、身に余る光栄に存じます。

私が理容組合県理事を拝命致しましたのは昭和63年であり、当時の理事長は富樫富太郎氏で、現在の富樫氏の父君であり、当時全国の理容店の数は、144,994点（厚生省調査）に対して組合員店132,702店で組合組織率84.6%と高く、山形県ではアウトサイダー店が1件も無い全国的にも珍しい県でした。

その後バブルがはじける迄は毎年のように値上げ値上げと好景気でしたが、その後は理容学校の開校、そして閉校に加え社会状況の変化によりアウトサイダー店の開業が数多く、それに対して組合店の減少等特筆される諸問題は理容業のみならず生衛業界では数多く出ている現状であり、生衛業各組合県のご指導や指導センターを中心に大同団結し、解決せねばならない事もあるのではと考えます。

街中に今〇〇屋さんと呼ばれるお店が姿を消していつている現状ですが社会ニーズの変化だけでは済まないのでは！！そう思いますと私達各生衛組合一致団結し制度の推進や規定も必要とは思っていますが、各業の置かれている実態把握と共に組合員同志のコミュニケーションが最も必要な時ではと思います。

新しい年に向け、いや、時代に向けてお客様の利便性も含めて考えていかなければならないと考えます。

微力ではありますが私に出来るお手伝いがあれば精一杯のご恩返しとしてさせて戴く所存です。

この度の受賞御礼申し上げますと共に、各生活衛生組合皆様と関係各位のご健勝とご繁栄を祈念申し上げ御礼の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございました。

秋の叙勲 旭日双光章



旭日双光章を受けて

山形県麺類飲食生活衛生同業組合

理事長 矢 萩 長兵衛

この度、思いも寄らず旭日双光章の勲章受章の榮譽を賜り、光栄なことと感じております。

去る令和元年12月13日皇居におかれそのお印拝受し、その重さを痛感する時間でもありました。ここに至るまでの道程を考えますと、家族はもとより私が所属する山形県麺類飲食生活衛生同業組合員の皆様や生衛同業組合に加入されております幅広い多くの方々の日々の御協力と献身的御支援があつてのものに心に残っております。

特に組織運営に当たり、困難時には、山形県をはじめとし、関係する行政機関の方々の温かい励ましや御援護を頂きながら遂行してまいりましたこと厚く御礼申し上げます。こうした諸般の尊さを鑑みれば、今回の叙勲の栄は私一人に非ず、全てに関わって下さる多くの皆様のお陰であると信じるものです。

あらためて感謝と御礼を申し上げる次第です。

今後残された人生として、報恩感謝の教えの如く、叙勲の重さに恥じることの無きよう精進してまいる所存です。

私はまだまだ足らざる者ゆえに、今後より一層の皆様の御叱責や御指導、御鞭撻を賜りますようお願いを切望し、ご報告と謝辞にかえさせていただきます。

皆様、誠にありがとうございます。

秋の叙勲 旭日双光章



旭日双光章を受けて

山形県食肉生活衛生同業組合

理事長 吉 田 昌 弘

このたび全国食肉生活衛生同業組合を通じ山形県食肉生活衛生同業組合に「令和元年11月3日の佳き日をもって叙勲の榮譽に浴されることになりました。つきましては、12月13日におこください。皇居へご案内の準備をさせていただきます。」と連絡を頂きました。これは一重に全国食肉生活衛生同業組合、山形県食肉生活衛生同業組合のみならず、県関係者のご協力とご支援の賜物と衷心より感謝を申し上げます。

今年は令和元年、新天皇陛下即位、新皇后さま即位というお祝いの年で、当然、日本の歴史上と私たちの記憶に残る記念すべき年になりました。令和元年5月1日。令和の幕開け。新天皇陛下（徳仁）1960年2月23日生まれ（59）、学習院大文学部。英国オックスフォード大留学。新皇后さま、1963年12月9日生まれ、米国ハーバード大、東大、英国オックスフォード大、外務省入り、趣味は散策、スキー。

そして85歳の前天皇陛下は4月30日退位され上皇となり、江戸時代の光格天皇が上皇となって以来202年ぶりで、憲政史上初めてだそうです。天皇陛下は「退位礼正殿の儀」に臨まれ、「憲法に則り日本国及び日本国民統合の象徴としての責務を果たすことを誓い国民の幸せと国の一層の発展そして世界の平和を切に希望します。」と述べられました。

また、令和元年10月、日本人ノーベル賞受賞者27人目で、リチウムイオン電池開発の吉野彰氏が受賞され、「私たちの生活に革命をもたらし、人類に偉大な貢献をした。」とたたえられました。

さて、この度は全国食肉生活衛生同業組合と山形県食肉生活衛生同業組合は昭和34年に設立し、今年で60周年の年を迎えることとなり、式典は勿論、東京でも山形でも行いました。

これも歴代の会長をはじめ諸先輩、県組合会員の一致団結と関係業界の皆様の絶大なご支援ご協力の賜物であります。

今後とも、食肉販売店のみなさまが自主管理のもとで適正な表示を実行し、地域に添った、食育、地産地消のサービス、高齢化社会に向けた福祉増進など衛生管理の維持向上を図り、軽減税率の導入、HACCPの考えを取り入れた衛生管理の実施、食肉販売店専門店としての誇りを自覚し、後継者の育成にも取り組みたいと思っております。

これからはAIの時代です。この技術を上手く活かしながら我々業界も発展すればと願っております。

最後に食肉業界のさらなる繁栄をご祈念申し上げ私の挨拶とさせていただきます。